

2025年1月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年9月11日

上場会社名 アセンテック株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3565 URL https://www.ascentech.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松浦 崇
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 佐藤 正信 TEL 03(5296)9331
 半期報告書提出予定日 2024年9月11日 配当支払開始予定日 -
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト・個人投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2025年1月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年2月1日～2024年7月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年1月期中間期	5,750	-	241	-	474	-	325	-
2024年1月期中間期	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 包括利益 2025年1月期中間期 257百万円 (-%) 2024年1月期中間期 -1百万円 (-%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年1月期中間期	24.53	-
2024年1月期中間期	-	-

(注) 1. 2024年1月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2025年1月期中間期の対前年同期増減率、2024年1月期中間期の数値及び対前年同期増減率については、記載していません。
 2. 2025年1月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
2025年1月期中間期	6,170		3,245		52.5
2024年1月期	4,621		3,120		67.4

(参考) 自己資本 2025年1月期中間期 3,240百万円 2024年1月期 3,115百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年1月期	-	0.00	-	10.00	10.00
2025年1月期	-	0.00	-	-	-
2025年1月期（予想）	-	-	-	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年1月期の連結業績予想（2024年2月1日～2025年1月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	60.6	717	18.1	950	35.3	650	35.2	48.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：有

新規 2社 (社名) 株式会社ワンズコーポレーション、株式会社エスアイピー 除外 1社 (社名) ー

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(中間期)

2025年1月期中間期	13,536,800株	2024年1月期	13,536,800株
2025年1月期中間期	260,972株	2024年1月期	260,972株
2025年1月期中間期	13,275,828株	2024年1月期中間期	13,268,220株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。当社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。業績予測の前提となる条件及び業績予測のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当中間決算に関する定性的情報(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(企業結合等関係)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当中間連結会計期間の末日現在において判断したものであります。なお、前第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同中間会計期間との比較分析を行っておりません。

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2024年2月1日~2024年7月31日)は、引き続き、ワークスタイルとしてハイブリッドワークの定着が進んでいると考えております。さらに、サイバーセキュリティの脅威の高まりから、セキュリティを守りつつテレワークが可能な仮想デスクトップの需要も引き続き、拡大していると考えております。

当中間連結会計期間においては、事業戦略の一つである「自社製品の開発と展開」において、「Resalio Lynx」と「リモートPCアレイ」を自治体向けに加え、金融機関向けのプロモーションも実施しております。さらに自社製品以外でも、生成AI市場向けの新規事業として、G-Core Labs S.A.とパートナー契約を締結し、益々増大する生成AIのコンピューティングノードをクラウドで提供する「Gcore Edge AI」の提供を開始し、顧客のニーズに対応すべく、営業活動に注力いたしました。

二番目の事業戦略である「ストックビジネス(継続収入)の拡大」においては、引き続き、金融機関、医療、地方公共団体等、業界に特化し、その業界における、お客様導入事例の横展開を図り、「リモートPCアレイ」などの自営保守サービスを含めた自社製品の売上拡大に注力したことで、当中間連結会計期間の売上ベースでは977,585千円となりました。また、新規受注ベースでも1,075,481千円となり、今後の売上、利益に寄与してまいります。

三番目の事業戦略である「戦略的事業・資本提携の拡大」においては、当中間連結会計期間より、連結子会社化した株式会社ワンズコーポレーション及び株式会社エスアイピーを連結の範囲に含めたことが、引き続き事業拡大に寄与してまいります。

当中間連結会計期間の売上高におきましては、前期に受注した官公庁を含む複数の大型案件の納品が完了したことや、その他多くの仮想デスクトップ案件や「リモートPCアレイ」の納品が完了し、売上高に計上しております。

利益面におきましては、円安等によるコスト増の影響を受けているものの、受注時の為替予約(為替ヘッジ)の実施により、為替差益226,070千円を計上しております。

これらの結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上高5,750,447千円、営業利益241,028千円、経常利益474,033千円、親会社株主に帰属する中間純利益325,694千円となりました。

なお、当社グループはITインフラ事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末における資産合計は、6,170,414千円と前連結会計年度末に比べて1,548,842千円の増加となりました。これは、主に売掛金が611,327千円、現金及び預金が554,486千円増加したためであります。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債合計は、2,924,556千円と前連結会計年度末に比べて1,423,854千円の増加となりました。これは、主に買掛金が434,890千円及び短期借入金600,000千円、契約負債が287,263千円増加したためであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は、3,245,857千円と前連結会計年度末に比べて124,988千円の増加となりました。これは、主に配当金の支払132,758千円があったものの、親会社株主に帰属する中間純利益325,694千円の計上により利益剰余金が増加したためであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて554,486千円増加し、2,791,252千円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、143,375千円の収入となりました。これは、主に売上債権の増加額561,519千円、棚卸資産の増加額189,696千円があったものの、仕入債務の増加額410,880千円、税金等調整前中間純利益473,145千円の計上があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、56,307千円の支出となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出29,946千円、無形固定資産の取得による支出27,644千円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、467,559千円の収入となりました。これは、配当金の支払額132,440千円があったものの、短期借入金の増加額600,000千円があったことによるものです。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2024年2月9日に株式会社ワンズコーポレーションと株式会社エスアイピーの2社を子会社化しております。当中間連結会計期間(2024年2月1日～2024年7月31日)の業績を踏まえ、下期も仮想デスクトップ事業領域において、売上の拡大が見込まれ、売上高、利益ともに、前回発表予想を上回る見込みとなったため、前回(2024年3月15日)に公表しました業績予想を下記のとおり修正いたします。なお、業績予想は、現在入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

2025年1月期通期業績予想の修正(2024年2月1日～2025年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり当期 純利益
前回発表予想 (A)	百万円 8,000	百万円 745	百万円 850	百万円 580	円 銭 43.68
今回修正予想 (B)	10,000	717	950	650	48.96
増減額(B - A)	2,000	△28	100	70	—
増減率(%)	25.0	△3.8	11.8	12.1	—
(ご参考)前期 実績(2024年1 月期通期)	6,226	607	702	480	36.21

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年1月31日)	当中間連結会計期間 (2024年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,236,766	2,791,252
売掛金	788,814	1,400,141
商品	423,233	610,233
仕掛品	14,757	18,357
その他	451,250	466,467
流動資産合計	3,914,822	5,286,452
固定資産		
有形固定資産	61,145	78,045
無形固定資産		
のれん	—	90,145
その他	123,634	138,485
無形固定資産合計	123,634	228,631
投資その他の資産		
その他	531,688	587,004
貸倒引当金	△9,720	△9,720
投資その他の資産合計	521,968	577,284
固定資産合計	706,748	883,961
資産合計	4,621,571	6,170,414
負債の部		
流動負債		
買掛金	447,012	881,902
短期借入金	—	600,000
未払法人税等	144,157	168,750
契約負債	785,725	1,072,988
その他	82,862	140,435
流動負債合計	1,459,756	2,864,076
固定負債		
退職給付に係る負債	—	29,725
その他	40,945	30,755
固定負債合計	40,945	60,480
負債合計	1,500,702	2,924,556
純資産の部		
株主資本		
資本金	235,653	235,653
資本剰余金	246,475	246,475
利益剰余金	2,761,294	2,954,231
自己株式	△237,547	△237,547
株主資本合計	3,005,877	3,198,813
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	59,837	55,137
繰延ヘッジ損益	49,302	△13,944
その他の包括利益累計額合計	109,140	41,193
新株予約権	5,851	5,851
純資産合計	3,120,869	3,245,857
負債純資産合計	4,621,571	6,170,414

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年7月31日)
売上高	5,750,447
売上原価	5,114,270
売上総利益	636,176
販売費及び一般管理費	395,147
営業利益	241,028
営業外収益	
受取利息	2,321
受取配当金	1,038
為替差益	226,070
その他	3,574
営業外収益合計	233,004
経常利益	474,033
特別損失	
固定資産除却損	887
特別損失合計	887
税金等調整前中間純利益	473,145
法人税、住民税及び事業税	160,891
法人税等調整額	△13,440
法人税等合計	147,451
中間純利益	325,694
親会社株主に帰属する中間純利益	325,694

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年7月31日)
中間純利益	325,694
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△4,700
繰延ヘッジ損益	△63,247
その他の包括利益合計	△67,947
中間包括利益	257,746
(内訳)	
親会社株主に係る中間包括利益	257,746

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	473,145
減価償却費	47,862
のれん償却額	10,016
株式報酬費用	3,023
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,230
受取利息及び受取配当金	△3,359
為替差損益(△は益)	8,911
固定資産除却損	887
売上債権の増減額(△は増加)	△561,519
棚卸資産の増減額(△は増加)	△189,696
前渡金の増減額(△は増加)	60,878
未収入金の増減額(△は増加)	12,836
仕入債務の増減額(△は減少)	410,880
前受金の増減額(△は減少)	125,242
未払消費税等の増減額(△は減少)	△58,871
その他	△59,860
小計	281,606
利息及び配当金の受取額	3,359
法人税等の支払額	△141,590
営業活動によるキャッシュ・フロー	143,375
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△29,946
無形固定資産の取得による支出	△27,644
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	15,000
保険積立金の積立による支出	△5,323
敷金の差入による支出	△8,394
投資活動によるキャッシュ・フロー	△56,307
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	600,000
配当金の支払額	△132,440
財務活動によるキャッシュ・フロー	467,559
現金及び現金同等物に係る換算差額	△140
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	554,486
現金及び現金同等物の期首残高	2,236,766
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,791,252

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

当中間連結会計期間より、株式会社ワンズコーポレーションと株式会社エスアイピーの株式を新たに取得したことにより2社を連結の範囲に含めております。

(企業結合等関係)

(取得による企業結合)

当社は、2023年12月13日開催の取締役会において、株式会社ワンズコーポレーションの株式(持分比率88.2%)を取得し、子会社化することを決議いたしました。当該決議に基づいて、2024年2月9日に同社株式を取得いたしました。

さらに、2024年2月14日開催の取締役会において、株式会社ワンズコーポレーションの株式(持分比率11.8%)を追加取得することを決議いたしました。当該決議に基づいて、2024年2月16日に同社株式を取得いたしました。

また、当社は、2023年12月13日開催の取締役会において、株式会社エスアイピーの全株式を取得し、子会社化することを決議いたしました。当該決議に基づいて、2024年2月9日に同社株式を取得いたしました。

1. 企業結合の概要

(1) 株式会社ワンズコーポレーション

①被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 株式会社ワンズコーポレーション

事業の内容 ITコンサルからシステム開発、ネットワーク構築、IT人材サービス

②企業結合を行った主な理由

株式会社ワンズコーポレーションは、1996年の会社設立以来、システム開発における経験豊富な人材を有し、ITコンサルからシステム開発、ネットワーク構築、IT人材サービスを主な事業としております。特に大手製薬・医薬、金融、生保企業において多くの実績を残し、お客様から高い信頼を得て事業を継続展開しております。当社グループのITインフラ事業と強いシナジーが見込めるものと判断し、同社を子会社化することとしました。

③企業結合日

2024年2月9日(みなし取得日2024年1月1日)

④企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

⑤結合後企業の名称

株式会社ワンズコーポレーション

⑥取得した議決権比率

100.0%

⑦取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として、株式会社ワンズコーポレーションの株式を取得したことによるものです。

(2) 中間連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

2024年1月1日から2024年6月30日まで

(3) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	119,000千円
取得原価		119,000千円

(4) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

①発生したのれん

29,200千円

②発生原因

今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力から発生したものであります。

③償却方法及び償却期間

5年間の均等償却

2. 企業結合の概要

(1) 株式会社エスアイピー

①被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 株式会社エスアイピー

事業の内容 システム開発からITインフラ提供、保守運用までのトータルサービス

②企業結合を行った主な理由

株式会社エスアイピーは、2004年の会社設立以来、幅広いシステム開発を受託し、コンサル、設計から大規模ITインフラ構築、保守運用まで事業展開を行っております。特に、中古車オークション情報システムにおいては、大規模アプリケーション開発からインフラ設計・構築に至るまでを受託し、長期間に渡り先進的なお客様システムの開発と安定稼働に貢献してまいりました。当社グループのITインフラ事業と強いシナジーが見込めるものと判断し、同社を子会社化することとしました。

③企業結合日

2024年2月9日(みなし取得日2024年1月1日)

④企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

⑤結合後企業の名称

株式会社エスアイピー

⑥取得した議決権比率

100.0%

⑦取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として、株式会社エスアイピーの株式を取得したことによるものです。

(2) 中間連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

2024年1月1日から2024年6月30日まで

(3) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	109,000千円
取得原価		109,000千円

(4) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

①発生したのれん

70,960千円

②発生原因

今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力から発生したものであります。

③償却方法及び償却期間

5年間の均等償却

(重要な後発事象)

該当事項はありません。